

出願者数及び出願倍率について

宮城県教育委員会

記者発表資料

令和 元年 6月 7日 (金)

教育庁教職員課

担当 伊藤(022-211-3630)

1 採用予定者数及び出願者数・出願倍率について

平成32年度(令和2年度)採用候補者選考

校種	小学校	中学校	中・高	高等学校	養護教諭	栄養教諭	計
採用予定 人数	180名程度 地域枠気仙沼4名 地域枠東部5名 特別支援学校枠10名 英語枠15名 上記の採用人数含む	105名程度	中・高等学 校採用者に 含む	60名程度	10名程度	若干名	355名程度
出願 者数	485名	396名	344名	511名	132名	26名	1,894名
出願 倍率	2.7倍	3.8倍	—	8.5倍	13.2倍	—	5.3倍
前年度 出願倍率	3.5倍	4.9倍	—	8.4倍	11.9倍	—	6.5倍

※中・高の倍率については教科の配置数及び栄養教諭については配置数が確定した段階で倍率が確定します。

2 出願状況の特徴について

(1) 小学校における「地域枠」・「英語枠」の出願状況について

①「地域枠気仙沼」について、採用予定者数4名に対して14名の出願。3.5倍の出願倍率

「地域枠東部」について採用予定者数5名に対して34名の出願。6.8倍の出願倍率

②「英語枠」について、採用予定者数15名に対して19名の出願。1.3倍の出願倍率

地域枠気仙沼が3年目、地域枠東部、英語枠は2年目の選考となり、志のある受験生の出願がみられ、地域枠東部が6.8倍となるなど高倍率となっている。

(2) 「特別支援学校枠」の出願状況について

①小学校は採用予定者数10名に対して65名の出願。6.5倍の出願倍率

②中学校、中・高、高等学校は若干名の採用予定者数に対して、中学校46名、中・高42名、高等学校18名の出願

特別支援学校枠については、昨年度より小学校、中学校、中・高区分で志願者が増加している。特別支援教育への関心が高まり、出願者の増加につながっている。

3 採用選考日程・会場

○第1次選考 令和元年7月20日(土)

宮城会場 仙台第一高等学校、仙台二華中学校・高等学校、宮城県工業高等学校、宮城県第二工業高等学校
東京会場 東京農工大学小金井キャンパス

○第2次選考 令和元年9月5日(木)～7日(土)及び12日(木)・13日(金)のうち1日

実技試験14日(土)

会場 宮城県総合教育センター、名取北高等学校